

大和川

大和川の流

大和川の流... 大和川の流...

大和川

「求める人と反対する人」

のつけかえ

二〇二〇年

九月八日(火)

十二月六日(日)

柏原市立歴史資料館

月曜休館(祝日は開館)

入館無料

9時30分～17時

(入館は16時30分まで)

史跡高井田横穴特別公開

10月17日(土) 10:00～15:00
学芸員によるガイドツアー
10時・11時・13時・14時
定員各回20名
参加費無料・申込不要

■大阪府柏原市高井田 1598-1
電話 072-976-3430

館長と学ぶ河内の古道講座

9月26日、10月31日、11月28日、12月26日
13:30～15:00 (13時より受付)
講師・安村俊史(当館館長)
当館3階研修室 定員70名
参加費200円 申込不要

■JR大和路線高井田駅から徒歩約5分
近鉄大阪線河内国分駅から徒歩約15分

大和川

大和川

大和川... 大和川... 大和川...

大和川... 大和川... 大和川...

やまとがわ こうずい
大和川がなんども洪水をおこしていたので、流れをつけかえて新しい大和川をつくってほしいと願う人たちがいました。そして、新しい川ができるとこまるので、つけかえしないでほしいと思う人たちもいました。つけかえを求めると、反対する人たち。それぞれの人たちの思いについて考えてみましょう。

つけかえ前の大和川

つけかえ前の大和川は、きゅうほうじがわ ながせがわ たまくしがわ ひらのがわ
久宝寺川（長瀬川）、玉櫛川（玉串川）、平野川などに分かれて流れ、
よどがわ おおかわ
大阪城の北でもとの淀川（今の太閤川）に流れこんでいました。しかし、なだらかな平野を流れているため、大雨が降るとすぐに洪水をおこしていました。

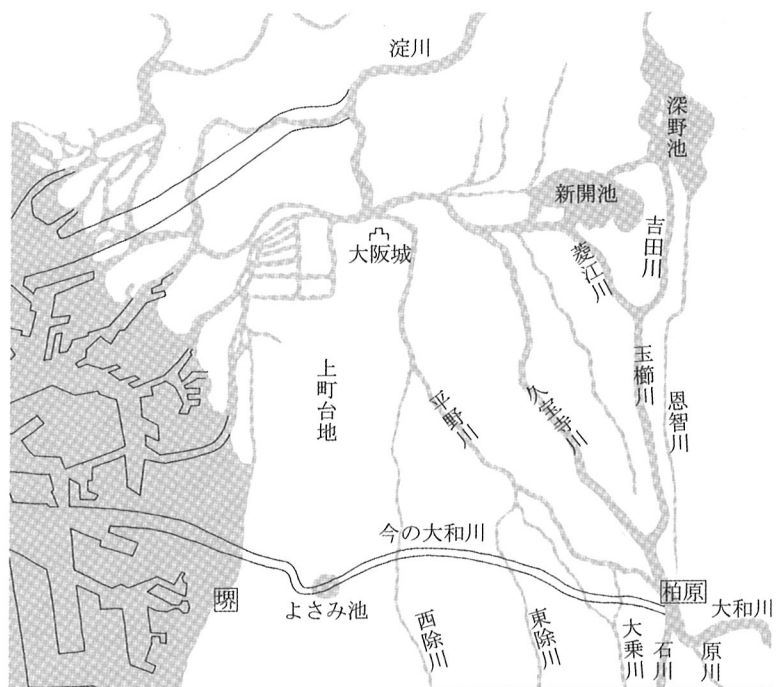
やがて、洪水に苦しむ人たちから大和川をつけかえてほしいという願いが出されるようになりました。そこで、幕府（国）はつけかえが必要かどうか、なんども考えましたが、いつもつけかえは必要ないということになりました。つけかえにたくさんのお金がいること、工事をするのがむずかしいことだけでなく、つけかえに反対する人たちがたくさんいたことも大きな理由と考えられます。新しい川ができるとこまる人たちが、つけかえに反対したのです。そのため、つけかえが行われることはありませんでした。

つけかえ工事の決定

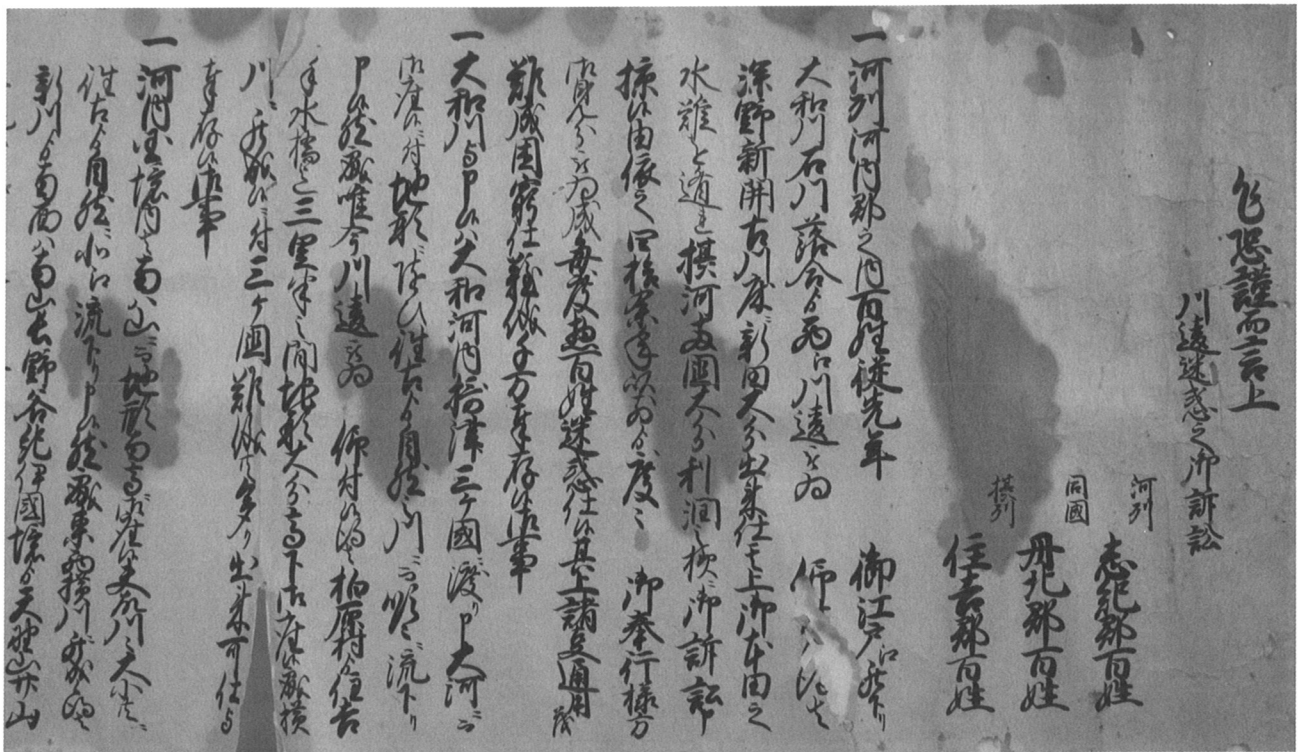
なんどお願いしてもつけかえをしてもらえないので、つけかえを求めていた人たちもすっかりあきらめたころに、幕府は急につけかえることを決めました。つけかえと洪水がなくなるだけでなく、幕府にたくさんお金が入ってくる方法があるとわかったからです。つけかえ工事で幕府が使ったお金は、もとの川に新田をつくるために集めたお金で、ほとんどもどってきました。そのうえ新しくできた新田からは、年貢（税金）がたくさん入ってくるようになるのです。幕府はつけかえ工事でお金が入ってくる方法を考え出したのです。

つけかえ工事

工事は、宝永元年（1704）2月にはじまり、10月に新しい大和川が完成しました。わずか8か月というスピード工事でした。新大和川は、川底をほとんど掘らずにつくられています。どうしても掘らなければならないところだけ掘り、その土を堤防に使ってむだのない工事を行っています。それも工事が早く進んだ理由のひとつです。よく考えて工事が行われていたのです。



つけかえ前の大和川



つけかえがめいわくであることを訴えた文章（松永白州記念館所蔵）

つけかえを求める人と反対する人

洪水に苦しむ人たちが、つけかえを求めたのは当然でしょう。大和川がちがうところを流れるようになると、洪水がおこらなくなるからです。それでは、どうしてつけかえに反対する人たちがいたのでしょうか。

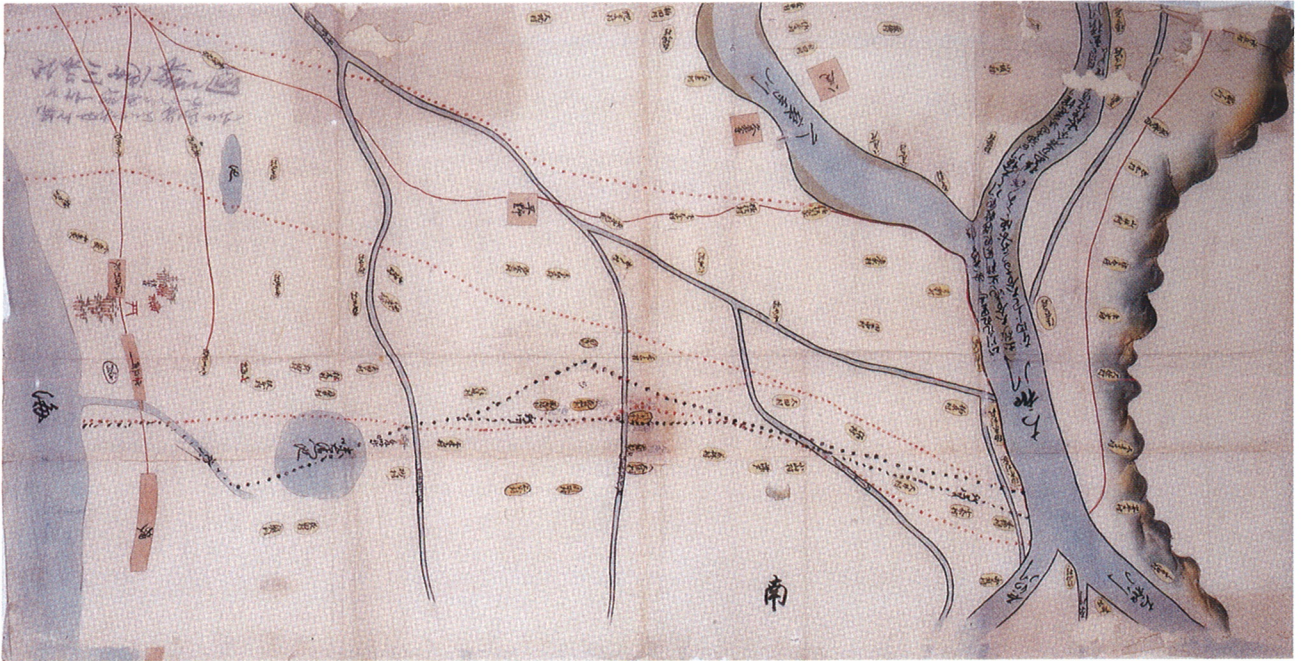
今でも大きな工事が行われるときに反対運動がおこることがよくあります。工事によって、めいわくを受けることになる人たちがでてくるのです。大和川のつけかえも同じことです。新しい川ができるとこまる人たちがいたのです。

新大和川の川幅は 180m あります。その両側に堤防があり、南堤防の南側には落堀川というたまった水を流すための川もつくられました。全部あわせると、幅 260m、長さ 14km ほどの田畑がつぶれることとなります。生きていくために必要な田畑がなくなってしまうのです。

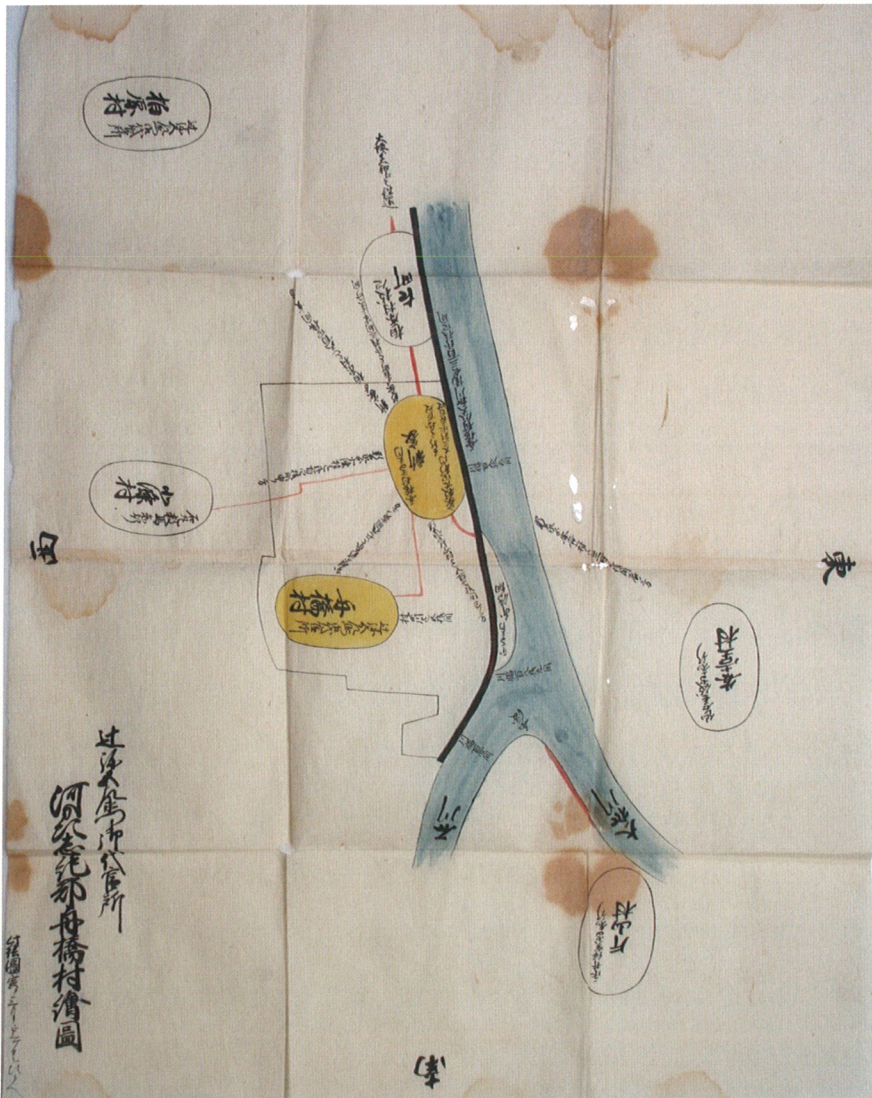
それだけでなく、大和川より南側は少しずつ高くなっているのです。雨がふると水が大和川のほうへ流れてきます。その水で、大和川より南側は水がたまりやすくなってしまいます。

大和川より北側では、南から流れてくる川の水を田畑に利用していましたが、それまでであった川が大和川より北へ流れなくなるので、田畑の水がなくなってこまることとなります。

それ以外にも、自然にさからって川をつくることとなるので、堤防がつぶれやすく、洪水がおこりやすくなる。それまでであった道が通れなくなり、行ったり来たりするのがたいへんになる。などこまったことが次々におこると考えられました。それで、新しい大和川をつくる予定地の近くに住む人たちが、つけかえに反対したのです。



たがえつも しんかわけいかくかわすじひかくず
大和川違積り図（新川計画川筋比較図・中家文書）
 新大和川のさまざまな計画ルートが記入されています。



ふなはしむらえず
舟橋村絵図

（松永白州記念館所蔵）

げんろく
 元禄 11 年（1698）につくら
 れたものです。舟橋（船橋）村
 の北に、^{ふなはし}「舟橋村新家」とよば
 れる小さな村がありました。
 24 ^{けん}軒の家があり、その「新家」
 がまわりの村とどれくらいは
 なれているかを示したもので
 す。「新家」は大和川のつけか
 えによって、つぶれてしま
 いました。「舟橋村絵図」と書か
 れているのに、「新家」のこ
 とをくわしく書いているのはふ
 しぎです。もしかすると、つ
 けかえの 6 年前にあたる元禄
 11 年には、幕府はどこでつけ
 かえたらいいのかと調べてい
 たのではないのでしょうか。